



碧南ロータリークラブ週報

第3179回例会 令和8年10月7日(水)

- 会長 杉浦 栄次
- 幹事 岡島 晋一
- 会場監督(SAA) 石川 鋼逸

2026-2027 年度
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田康弘・石川昌樹・三木信幸

**CREATE
LASTING
IMPACT**
持続可能な
インパクトを
生み出そう

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

米山奨学生 名古屋産業大学大学院 環境マネジメント研究科 パウデル, サンジョグ様

会 長 挨 拶

皆様、こんにちは。

本日も例会にご参加いただきまして、ありがとうございます。先ほど食事中に「六甲おろし」が流れていたと思いますけれども、私の横で岡島幹事がちょこちょと携帯をいじっていたので「何をやってんの？」と聞いたら、音楽のチョイスをして

流しているそうで、阪神タイガースが優勝しまして、連覇ということでございまして、そのお祝いも兼ねて流させていただいたようでございます。2 曲目に流れたものは木村徳雄さんが歌ったカラオケではありません。でも、すごくよく似ておりまして、ぜひ今度どこかで披露していただければいいなと思います。

冗談はさておきまして、10 月を迎えまして、朝夕がだんだん涼しくなってきたのを感じているところであります。まだまだ日中との寒暖差がありますので、お体には十分ご注意くださいと思います。

今週の日曜日、月曜日に私と家内と犬、それから妹夫婦とで、三重へ旅行に行ってきました



杉浦栄次会長

た。10月には神無月と言われておりますけれども、旧暦でいきますと、10月の下旬から12月の上旬が神無月ということになるそうでございますので、神様が出雲に行ってしまう前に椿大社と多度大社へ行ってまいりました。

椿大社とよく言われていると思うんですけど、正式には椿大神社（つばきおおかみやしる）だそうでございます。私は初めて行ったんですけども、行ってみたら意外と荘厳で、見どころも多く、滝がありまして、その滝を写真に撮って待ち受けにすると願いが叶うと言われていたので、しっかりとミーハーに撮ってまいりました。今、待ち受けになっております。お近くですので、すでに行かれた方も大勢いらっしゃるかもしれませんが、何か機会があれば、ぜひ行っていただければと思います。

今日は「ヨワバ、ジョローガイ」の話の続きで「馬鹿者」のお話をしてみようと思います。混沌とした世の中を変革していくには、従来の固定観念や価値観、世間の常識にとらわれることなく、自分を信じて、自分の信じることをパラノイアのように突き進むことも大事ということでございます。

ライト兄弟が1903年に世界初飛行に成功しましたが、その100年前に沖縄で空を飛びたいと思った人がいたそうでございます。花火師の安里周祥（あさとしゅうしょう）という人で、後に「飛び安里」と呼ばれておりまして、沖縄では有名だそうですが、私はよく知りません。

いわゆるオーニソプターと呼ばれる鳥人間コンテストですね。羽をつけたら飛べるんじゃないかということで、実際に崖から飛んだ人がいまして、実際には飛べないので、墜落して大怪我をするんですけども、必ず飛べるはずだということで何回も何回も飛びまして、その都度、周りの方から「あいつは気が狂っているんじゃないか、狂人じゃないか」と言われても何度も挑戦しまして、最後に「尻尾がついていないからいけないんだ」ということで、尻尾をつけて飛んだら飛べた、という伝説が残っている人だそうでございます。

話が変わって、イタリアの修道士のジョルダノ・ブルーノという人がいまして、この方は地動説を唱えて、キリスト教に火あぶりにされた人です。地動説はコペルニクスが初めて唱えたというのが有名だと思いますけれども、実際にはコペルニクスは生きている間に地動説を発表してしまうと殺されてしまいますので、死んでから発表されたということだそうでございます。

ニュートンやガリレオも地動説を確信していましたが、発表はしていません。キリスト教が正式に地動説を認めたのは1992年のことで、当時のローマ教皇がガリレオの裁判は間違いだったと認めたということです。実際に馬鹿者になろうと思っても、命がけだなというところでございます。

微生物学者にバリー・マーシャルという人がいまして、この人は胃潰瘍の原因がヘリコバクター・ピロリであることを発見した人です。ただ、その当時の医学会では強酸性の胃酸の中でヘリコバクター・ピロリが生きられるはずがないというのが定説でしたので、学会からは狂人扱いをされていたそうでございます。

でも、彼は悔しいので、実際に胃潰瘍の患者から採取したピロリ菌を培養しまして、それを自分で飲み、自分が胃潰瘍になって、ピロリ菌は胃酸では死なないということを証明した人

だそうでございます。このマーシャルさんがそれをやってくれていなければ、今でも人類は胃潰瘍で苦しんでいるかもしれないということで、非常に後世に貢献された人です。

日本人でも満屋裕明さんという人がいまして、この方はエイズの治療薬を開発した人でございます。エイズが流行り始めた時は当然、未知の病気ですので誰も手をつけたがらなかったんですけれども、誰かがやらなければということで、勇気を持ってそれに携わられて、見事に薬を開発されました。そのおかげで今ではエイズは治療できる病気になっていますし、この方がもっと偉いのは、途上国に向けては特許権をつけないということまでされていることで、日本人の誇りだなと感じております。

まだまだパラノイアの馬鹿者はたくさんおりますけれども、有名なところでいきますと、アップルのスティーブ・ジョブズは風呂に入らない人で、悪臭を漂わせながらいろいろな人と面談をして、商談をしていたそうでございます。

トラクター会社のフェルッチオ・ランボルギーニという人は、フェラーリが大好きだったんですが、「クラッチの入りが悪い」とフェラーリに苦情を言ったところ、「トラクター会社に何がわかる」と言われて腹が立ち、自分でスーパーカーのランボルギーニを作ってしまったというようなことでございます。

こうした馬鹿者に共通するのはいわゆる失敗不感症というか、失敗に関して全然怖くない、懲りない人だということです。周りから変人だと思われても、世界を変えるパワーがあるようです。私たちも程よい馬鹿者であることが大事なのかなというふうにも感じております。

本日は米山奨学生のパウデル,サンジョグさんにお話をいただきます。パウデル,サンジョグさんが CO2 削減の馬鹿者になることを期待しながら、お話を伺いたいと思います。

本日の例会もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。10月
は 157 円になります。
- ・ ガバナー月信 10 月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ガバナー事務所より「ロータリー・ドネーション・フェスタ
2027」開催決定のご案内が届いております。
- ・ 10 月 13 日（火）はガバナー公式訪問になりまして、衣浦グランドホテルにて 12 時 30 分
より開催されます。日時と会場をお間違いなきよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・ 10 月 14 日（水）は 13 日（火）の振替休会になります。
- ・ 10 月 21 日（水）はインフォーマルミーティングになります。時間は 17 時 30 分からになり
ますので、よろしくお願い申し上げます。



岡島晋一幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 61 名（内出席免除者 17 名の内出席者 14 名）出席者 51 名	
出席対象者 51／58 名	出 席 率 87.93%
欠席者 10 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 黒田 泰弘君 石垣にてのフルコースとは、驚きでした。平岩統一郎様には大変お世話になりました。
- 木村 徳雄君 こんにちは。報告です。10月15日より衣浦グランドホテルのランチメニューが変わります。白いどて煮と王道を極める和風どて煮があります。一度お試し下さい。
- 角谷 信二君 優勝しました。ヨシ、ヨシ！！
- 竹中 誠君 佐久島の魚が楽しく遊んでくれました。
- 新美 雅浩君 米山奨学生のパウデル サンジョグさんに本日の卓話をお願いしました。よろしくをお願いします。
- 牧野 勝俊君 男子バレーSVグロース、アイシンティルマーレ碧南のホームゲーム試合日程が決定しました。パートナー企業の皆様を始め、各企業様のお力添えに感謝申し上げます。今シーズンも引き続きのご声援をよろしくお願いいたします。ノベルティお使いください。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

3 日 黒田 昌司君 9 日 平岩統一郎君 21 日 三木 信幸君
24 日 岡島 晋一君 29 日 杉浦 勝典君

奥様誕生日

3 日 山中 寛紀君の奥様 恭子様 3 日 中辻 直人君の奥様 真美様
6 日 杉浦 栄次君の奥様 ちづる様 12 日 小林 清彦君の奥様 登美子様
18 日 奥田 雪雄君の奥様 万里子様 25 日 平松 則行君の奥様 啓子様
25 日 石川 鋼勇君の奥様 絵梨子様

結婚記念日

1 日 倉内 松雄君・敦子様 23 年 3 日 中辻 直人君・真美様 8 年
6 日 藤関 孝典君・千智様 42 年 17 日 牧野 勝俊君・ひろみ様 39 年
26 日 大竹 密貴君・弥生様 30 年

クラブフォーラム

「身近なCO₂を測り、母国ネパールの未来を変える」
米山奨学生 名古屋産業大学大学院 環境マネジメント研究科
パウデル,サンジョグ様



パウデル,サンジョグ様

皆様、こんにちは。

本日は貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございます。名古屋産業大学大学院 環境マネジメント研究科のパウデル,サンジョグと申します。本日は「身近な CO₂ を測り、母国ネパールの未来を変える」と題しまして、私の日本での学びと、皆様への感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

私はネパールからまいりました。日本文化への憧れから留学を決意し、現在は環境研究の道へ進んでいます。本題に入る前にまずはロータリークラブの皆様から心から感謝を申し上げます。来日から 10 年という日本での長い学生生活の中で、ロータリークラブの皆様がいつも家族のように温かく支えてくださいました。皆様のその手厚いご支援のおかげで、私は今、不安なく大好きな研究に専念できています。本当にありがとうございます。

本日は皆様のご支援がどのように実を結んでいるのかをお話しさせてください。その前にネパールの街や文化、私の家族や私がやってきていることを皆様にご紹介したいと思いますので、動画をご覧ください。

ありがとうございます。それでは、私が日本でどのような研究をしているのかをご説明します。皆様、ニュースなどで「地球温暖化」という言葉をよく耳にされると思います。遠い世界の話のように感じられるかもしれませんが、実は私たちの生活の身近な場所でも、CO₂ 濃度は風や季節によって大きく変化しています。

私は愛知・岐阜・三重の東海 3 県のデータを使って、この身近な CO₂ の変化を検証しました。すると、夏は植物の活動などによって、地域ごとに CO₂ 濃度に大きな違いが出ることなどがわかりました。そして、長期間のデータを分析した結果、皆様が一番お伝えしたいある事実が浮かび上がってきました。

こちらのグラフは 2011 年から 2015 年までの 5 年間の推移です。岐阜農林高校地点、名古屋産業大学地点、久居農林高校地点の 3 つの測定地点の全てで、CO₂ 濃度は年々上昇する傾向が見られました。特に岐阜農林高校地点では、その上昇がはっきりと確認できます。つまり、地域による差はあっても「どの身近な場所でも、確実に CO₂ は上昇し続けている」のです。これが、私がデータから導き出した一番のメッセージです。

私は日本で学んだ「CO₂ を測る技術」と「環境への危機感」を母国ネパールの未来を担う子どもたちに伝えたいと強く思いました。そこで、ネパールの学校に日本の測定器を持ち込み、環境学習を始めました。自ら現地の学校を開拓し、これまでに 14 校と連携して活動を行っています。そして、当初の計画を大きく上回る 1,400 人もの児童や生徒がこの環境学習に参加してくれました。

まず、子どもたちに環境意識の調査をして、環境教育のことをやって、また調査をして、ど

のような変化があったのかということをやっているのはありますけれども、教室の中だけで学ぶではありません。子どもたちと一緒に教室を出て、グラウンドや生活道路、車の多い幹線道路など、様々な場所で実際に CO2 を測りました。そして、自分たちの手で学校周辺の「CO2 マップ」を作りました。自分たちが普段遊んでいる場所や歩いている道の CO2 濃度を自分たちで発見していくのです。

さらにケースの中に植物を入れて CO2 濃度の変化を観察し、光合成のメカニズムを学ぶ実験も行いました。「植物が本当に CO2 を吸収している」という知識としては知っていても、それを初めて数値として目で見て実感した瞬間、子どもたちの表情がパッと変わりました。その時の子どもたちの輝くような目は今でも忘れられません。

私がこの活動を通して実感したことは、新聞のインタビューでもお話しさせていただいたのですが、「目に見えない CO2 を、機械を使って『数字』で見せることで、子どもたちの環境への意識が大きく変わった」ということです。日本の技術がネパールの子どもたちの心に確かな変化をもたらした瞬間でした。

こうした日本とネパールを股にかけた「ゼロカーボンスクール」の取り組みは、ありがたいことに社会からも高く評価していただきました。環境省からは「気候変動アクション環境大臣表彰」を共同受賞し、愛知県国際交流協会からは「国際交流推進功労者表彰」をいただきました。さらに文部科学省の日本型教育の海外展開事業「EDU-Port ニッポン」としても採択され、活動の幅は大きく広がっています。

最後になりますが、私の将来の夢は日本とネパールをつなぐ「環境保全の架け橋」になることです。日本で学んだ高度な知識や技術を新興国であるネパールに根付かせ、地球全体の環境を守るリーダーになりたいと考えています。私がこのように国境を越えて活動を広げ、夢に向かって力強く歩み続けることができるのは、ロータリークラブの皆様の温かいご支援と励ましのおかげに他なりません。これからも皆様への感謝を胸に日々研究と活動に邁進してまいります。

ご清聴いただき、本当にありがとうございました。

次回例会案内

令和8年10月21日（水）午後5時30分～

インフォーマルミーティング 会場：碧南商工会議所